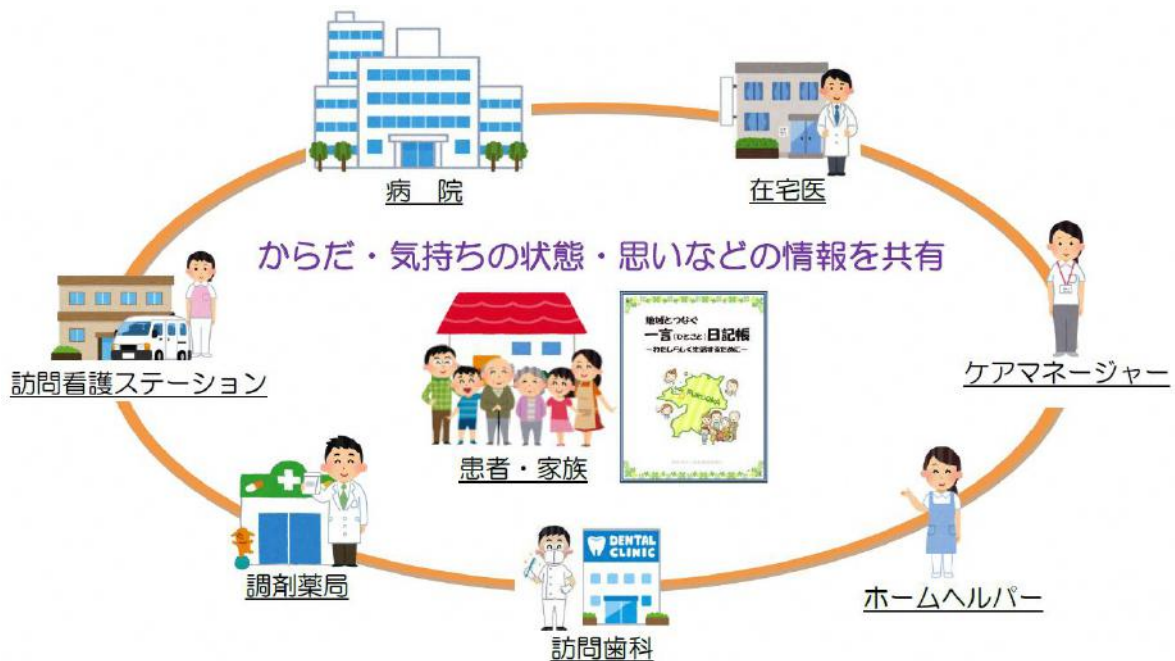


一言（ひとこと）日記帳 説明書（患者・家族配布用）

1. 一言（ひとこと）日記帳について （2 ページ）

一言（ひとこと）日記帳は、いつもあなたの手元に置き、病院受診時や訪問を受ける時などに、担当する医師や看護師などへお見せください。



2. 困った時の連絡先 （3～4 ページ）

あなたや・ご家族が「いつもと様子が違う」と感じた時、「どうしたらいいの?」と迷った時、これを見ながら連絡することができます。

あらかじめ「何かあったら、第一報はどこに連絡するのか」

「このような時はここに連絡する」など、

病院の医師や在宅医・訪問看護師などと話し合っておくとよいでしょう。

連絡時は、あわてず、「①いつから ②どこが ③どのように」いつもの様子と違うのかを伝えるようにしましょう。

3. わたしについて （5～6 ページ）

自分らしく過ごすために

「大切にしたい」と思っていること、

逆に「したくない・してほしくない」と思っていること、

心配や気がかり、困っていることなど、

ご家族や医療・介護担当者に知っておいてほしいと思うことを自由に書いて下さい。

また、医師からの説明を一緒に聞いてほしい人についてや身体が辛いなどの理由で、ご自分の気持ちを伝えにくい場合、誰に意思決定を任せたいかも書くことができます。

気持ちは変わることがあるため、何度でも書き直しても大丈夫です。

また、自分で書き込めない場合は、ご家族や医療者・介護者に手伝ってもらいましょう。

4. よくある質問 （7ページ）

「何を質問してよいかわからない」と感じていないでしょうか。
あなたが聞きたいことをきちんと聞けるように、ほかの患者さん・ご家族からでている疑問点や不安について、いくつか“よくある質問”をあげています。

5. 患者と家族と医療者が書き込む一言（ひとこと）日記 （8ページ～ ）

日頃、医療・介護担当者に尋ねたいと思っても、いざ、訪問時になると忘れることもありますので、いつでも、思いついた時に書いておきましょう。
あまり書きたくない時は、「からだ・気持ちの症状による生活の支障」の部分を○で囲むだけでも構いません。

医療・介護者担当者も、あなたやご家族からの質問、心配事への回答や伝えたいことを書き込み、双方のコミュニケーションツール（伝言板）として活用します。

また、医療者・介護者は、訪問時に患者さんの療養記録を残し、症状の経過観察などの情報共有にも活用します。

- ❖ 5. 一言（ひとこと）日記の用紙については随時、ページを追加することができます。追加が必要な場合、担当する医療・介護担当者へご相談ください。

6. 個人情報の登録・お願いについて

1) 一言日記帳運用登録に対するお願い

この一言日記帳は皆さんに使っていただく中で、問題点や改善点をみつけ、改定を繰り返しながら、更に活用しやすいものにしていきたいと考えています。
そのため、お名前などの情報の一部を登録管理事務局へのご登録いただくことや、個人が特定されない形で情報を研究などに活用させていただくことにご同意をお願いいたします。

なお、不必要になった場合でも一言日記帳は廃棄せずに保管をお願いします。
診療に役立たせていただくために記録を見せていただいたり、後日、アンケートのご協力をお願いする場合があります。
一言日記帳について活用のお断り、活用途中での中止、および保管のお断りをされても、何ら不利益になることはありませんので、ご遠慮なくお申し出ください。

2) 個人情報の取り扱いについて

事務局は、管理責任者のもと、個人情報保護の重要性を認識し、取得した個人情報について適切、且つ慎重な管理を行います。また、他の目的で使用する事はありません。
分析に際しても、個人が特定されないよう個人情報の取り扱いに配慮いたします。